

平成25年度 新たな学校防災教育モデル校の取組

行政区	泉区	学校番号	98	学校名	仙台市立将監西小学校
-----	----	------	----	-----	------------

1 重点取組事項

- 1 防災教育副読本を活用した授業の取組と、副読本の活用を組み入れた年間指導計画の作成
- 2 多様な避難訓練の実施と、地震対応マニュアルの改善
- 3 地域や中学校と連携した防災教育の実施

2 重点取組事項の具体的な内容

- 1 ○防災教育副読本を活用した授業実践に全校で取り組んでいる。授業後には先生方にアンケートをとり、内容についての意見や感想、学年の系統性、実施の時期などについての考えを聞き年間指導計画作成の参考としている。また、利用した資料やワークシートなども次年度に生かせるように蓄積している。  
○8月29日の学校参観では、全校一斉に副読本を活用した防災の学習に取り組み、児童の防災意識を高めるとともに、防災教育について地域への啓発を図った。

< 8月29日学校参観日 防災に関する授業一覧 >

学年	主な学習内容とねらい
1	学活：副読本4章6「ぼうさいリュックを 用いよう」 もしもに備えて自分の家の防災リュックを用意 することができる。
2	学活：副読本3章2「つなみについて知ろう」 津波の速さや力の大きさ、河川の遡上といった 特徴を知り、津波から身を守る適切な方法につ いて理解する。
3 特	理科：副読本3章3「雨・風・雷について知ろう」 気象災害にはどのようなものがあり、どんな被 害があるのかを知り、天候が荒れているときに気 をつけることを考える。
4	理科：副読本3章1「地震のメカニズムを知ろう」 地震発生のおよびや地震に関する用語を理解し 情報を的確に読み取ることができる。
5	総合：副読本4章6「災害時をくらすヒント」 ライフラインが寸断された状況で生活するため の工夫や、日頃から備えることの大切さにつ いて理解させる。
6	理科：副読本3章2「津浪のメカニズムと災害」 津波発生のおよびや津波による被害について学 び、地震発生時の的確な判断や津波に対する備 えについて考える。



[2年：津波の体験をした  
先生をゲストに迎えて]



[5年：バケツリレーを体験  
しよう]

- 2 ○6月10日の避難訓練は、教室以外の場所で学習している時の大きな地震を想定して行った。東日本大震災以来、小さな地震でも揺れを感じたら児童はすばやく机の下に身を隠すことが身についている。そこで、小学校では初めての訓練である1年生を除き、3年生以上は特別教室での学習中に、2年生は教室で座っていない状態の学習中に、訓練を行うことにした。事前指導ではワークシートを作成し、特別教室や教室ではどのような物が危険か、倒れてきそう、落ちてきそう、動いてきそうなものはないか、を考えさせ、どのような行動をとればよいかを児童に考えさせた。特に、机のない音楽室や体育館ではどうすればよいかについては戸惑う児童も多く、「いつも机の下に隠れれば訓練は終わり」という考えから脱却させることができた。避難訓練に引き続き引き渡し訓練が行われ、昨年度に作成した防災マップを見ながら保護者と共に通学路の危険箇所や子ども110番の家を確認した。訓練の事後指導として、児童全員に振り返りカードを書かせて意識づけを図った。また、教職員や保護者のアンケートからの反省点をもとに地震対応マニュアルの改善を図っている。

**大きなじしんがおきたら…どうする！？**

年 名前

①もし、写真の教室で、大きな地震がおきたら、どんなあぶないことが考えられますか？あぶないと思う物や場所に○をつけましょう。

②大きな地震がおきたときには、おちついて まわりを見て、  
 きそう、  きそう、  きそう、  
 な物や、場所からはなれて、安全な場所に身をよせます。



[5年生：音楽室での訓練]



[3年生：図書室での訓練]

[事前指導用ワークシート]

- 3 ○将監中学校区の小中学校教職員と PTA 役員を対象に、合同講演会を実施した。今年度は「大震災後の児童生徒を支援する人の心のケア」をテーマに、ケア宮城代表の畑山みさ子先生から講話をいただいた。
- 1月25日に、地域ぐるみ健全育成推進協議会の地区部研修会において、中学校区内各学校の防災学習の取組を発表する場を設けていただき、地域への防災教育の発信の場とした。児童生徒からの発表のほかに、「震災に学ぶ～地域で共にできること～」をテーマにしたグループ討議や、地域の方々との懇談も行った。

### 3 成果と課題

- 防災教育副読本は、防災学習のよい指針となっている。年間指導計画にしっかりと位置づけるとともに、他教科との関連もよりいっそう検討し効率的に学習が進められるようにすることが必要であると考えます。また、今後も授業実践を重ね、指導案や資料等の蓄積をしていくことも継続していきたい。
- 学校参観日での全校一斉の授業公開や、地域ぐるみ健全育成推進協議会との連携など、地域への啓発活動は実施できたが、児童が地域と共に活動する場はまだあまりない。保護者や地域の方々と共に活動する場をさらに模索していく必要がある。

